

2025年度 第2四半期 (2025年4月～2025年9月) 決算補足説明資料

2025年11月13日
西日本鉄道株式会社
(コード番号 9031)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び
合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

目次

	ページ
1.連結決算概要 連結経営成績、連結の範囲	・・・ 1
2.セグメント別損益 セグメント別損益状況、数量情報	・・・ 2~8
3.連結財政状態	・・・ 9
4.連結キャッシュ・フローの状況	・・・ 10
5.2025年度連結業績予想 セグメント別損益予想	・・・ 11~12

1. 2025年度第2四半期 連結決算

《全体損益等》

営業収益	不動産業における住宅事業でのマンション販売戸数の増加や、賃貸事業での「ONE FUKUOKA BLDG.」の開業に加え、
営業利益	物流業における国際物流事業での輸出入取扱高の増加などにより、増収・増益
経常利益	営業利益の増加などにより、増益
親会社株主に帰属する 中間純利益	不動産流動化での信託受益権の売却による固定資産売却益の増加や、 政策保有株式の売却による投資有価証券売却益の増加などもあり、増益

(単位：億円)

	2025/2Q	2024/2Q	増減	率(%)	主な増減内容
営業収益	2,223	2,081	141	6.8	(+) 住宅 67 (マンション販売)、賃貸 30 (ONE FUKUOKA BLDG.開業)、国際物流 17 (取扱高増)、ホテル実質 15、ストア 10、 車両整備関連 8 (受注増)、鉄道 7、その他サービス 7 (受託料増)、バス実質 5 (△) その他不動産 △5 (受注減)、金属リサイクル △2
営業利益	131	127	4	3.0	(+) 住宅 9 (粗利増)、国際物流 9 (粗利増)、その他サービス 2 (△) 鉄道 △5 (費用増)、ホテル △4 (費用増、ONE FUKUOKA HOTEL開業費用)、バス △3 (待遇改善)、 賃貸 △2 (ONE FUKUOKA BLDG.開業費用)
経常利益	144	132	12	8.8	(+) 業務支援料 10 (当期 11、前期 1)、持分法投資損益 5 (当期 3、前期 △2) (△) 為替差損益 △5 (当期 △1、前期 4)、支払利息 △3 (当期 △16、前期 △13)
親会社株主に帰属する 中間純利益	165	93	73	78.6	特別損益 88 (固定資産売却益 45 [当期：信託受益権]、投資有価証券売却益 44 [当期 54、前期 10])

※営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、1977年度に連結決算を導入して以来、過去最高

事業利益	148	131	17	13.2	(事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等)
EBITDA	262	225	37	16.4	(EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 [営業費])
設備投資	136	307	△ 171	△ 55.7	

《連結の範囲（期末）》 連結子会社 81社 (増減なし)、持分法適用会社 42社 (増加 1社)、持分法非適用会社 6 社 (増加 1社)

2. セグメント別損益

対前年比較

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2025/2Q	2024/2Q	増減	率(%)	2025/2Q	2024/2Q	増減	率(%)
運 輸	41,486	40,271	1,215	3.0	2,028	2,895	△ 867	△ 29.9
不 動 産	44,081	36,293	7,787	21.5	5,042	4,426	615	13.9
流 通	36,594	35,454	1,139	3.2	112	107	5	5.1
物 流	71,935	70,179	1,756	2.5	2,520	1,547	973	62.9
レ ジ ジ ャ ー ・ サ ビ ス	27,627	25,128	2,499	9.9	3,033	3,192	△ 158	△ 5.0
そ の 他	14,158	13,608	550	4.0	781	760	21	2.8
調 整 額	△ 13,624	△ 12,815	△ 808	-	△ 463	△ 257	△ 205	-
合 計	222,258	208,118	14,140	6.8	13,056	12,671	384	3.0

運 輸 業 鉄道事業で需要の回復などにより旅客人員が増加したことや、バス事業でダイヤ改正による減便などの減収の一方、
インバウンド需要の増加や「ONE FUKUOKA BLDG.」の開業効果などにより、増収
待遇改善による人件費の増加などにより、減益

(単位：百万円)

	2025/2Q	2024/2Q	増 減	率(%)	主な増減内容
営業収益	41,486	40,271	1,215	3.0	
鉄道	11,788	11,103	684	6.2	(+) 旅客人員の回復(定期外・定期)
バス※2 (※1 実質)	28,502 (26,697)	27,965 (26,241)	536 (456)	1.9 (1.7)	(+) インバウンド需要増、ONE FUKUOKA BLDG.開業効果 (△) ダイヤ改正による減便
他※2	5,872	5,863	8	0.2	(+) 運輸関連
消去	△4,676	△4,661	△14	-	
営業利益	2,028	2,895	△867	△29.9	
鉄道	773	1,251	△478	△38.2	(△) 費用増(人件費・減価償却費・修繕費増)
バス※2	1,342	1,684	△342	△20.3	(△) 費用増(人件費・一般費・減価償却費増)
他※2	18	△3	22	-	
消去	△105	△36	△68	-	

※1 実質…事業内部取引を除く

※2 従来、「運輸業」の「他」に含めていた北九西鉄交通(株) (旧社名: 北九西鉄タクシー(株)) は、タクシー事業を終了したため、当中間連結会計期間の期首より主要な事業となる「バス事業」に変更しています。

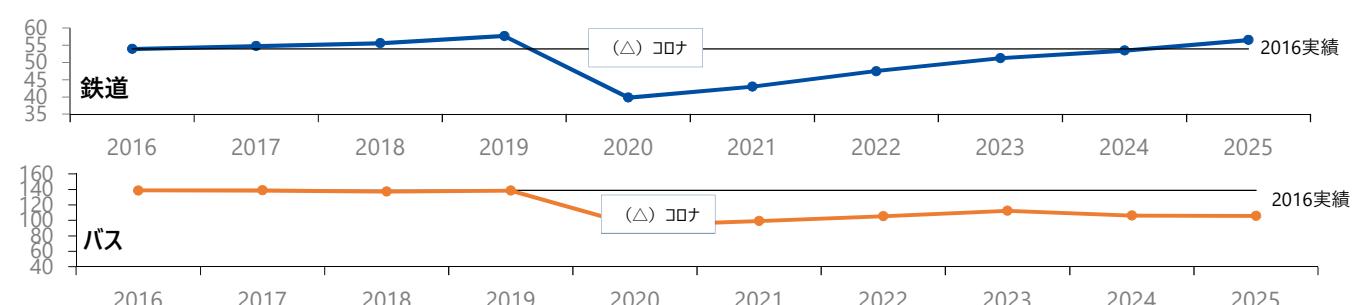
なお、前中間連結会計期間については、組替えを行っています。

EBITDA	5,735	6,195	△460	△7.4	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])
設備投資	2,751	1,464	1,286	87.8	

旅客人員 (単位：百万人)

	2025/2Q	2024/2Q	増 減	率(%)
鉄道	56	53	3	5.7
定期外	24	22	1	7.4
定期	32	30	1	4.5
バス※2	105	106	△0	△0.5
定期外	60	60	△0	△0.3
定期	45	45	△0	△0.7

旅客人員推移 (百万人)



不動産業 住宅事業で「ガーデングランデ横浜戸塚」などのマンション販売戸数が増加したことや、
賃貸事業で「ONE FUKUOKA BLDG.」の開業（2025年4月）などにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2025/2Q	2024/2Q	増減	率(%)	主な増減内容
営業収益	44,081	36,293	7,787	21.5	
賃貸	18,718	15,736	2,981	18.9	(+) ONE FUKUOKA BLDG.開業
住宅	21,586	14,902	6,684	44.9	(+) マンション(販売戸数増)、戸建(販売区画数増)
その他不動産	7,286	7,767	△481	△6.2	(△) 受注減
消去	△3,509	△2,113	△1,396	-	
営業利益	5,042	4,426	615	13.9	
賃貸	3,329	3,577	△247	△6.9	(△) 費用増(減価償却費・共益費・手数料増)
住宅	1,641	743	898	120.8	(+) マンション(粗利増)
その他不動産	220	210	10	5.2	
消去	△149	△103	△45	-	
EBITDA	9,751	7,857	1,893	24.1	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])
設備投資	5,472	25,330	△19,858	△78.4	前期：ONE FUKUOKA BLDG. (2024年12月竣工、2025年4月開業)

分譲販売区画数

(単位：戸、区画)

	2025/2Q	2024/2Q	増減	率(%)	摘要
合計	455	306	149	48.7	
マンション 〔うち一棟売却 賃貸マンション〕	359 (123)	232 (100)	127 (23)	54.7 (23.0)	〈当期〉ガーデングランデ横浜戸塚、一棟売却賃貸マンション 〈前期〉一棟売却賃貸マンション、照葉ザ・タワー、サンリヤン東戸塚
戸建	93	67	26	38.8	
リノベーション	3	7	△4	△57.1	

流通業 ストア事業で沿線店舗をはじめ既存店売上が増加したことや前期に改装した店舗の寄与などにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2025/2Q	2024/2Q	増 減	率(%)	主な増減内容
営業収益	36,594	35,454	1,139	3.2	
ストア	33,555	32,571	984	3.0	(+) 既存店(沿線店舗好調)、改装店(前期：砂津店、当期：天神店) (△) 前期廃止店(竹下店、三苦店、香椎照葉店)
生活雑貨販売	3,038	2,883	155	5.4	(+) 既存店売上増 (△) 廃止店(前期：広島店、当期：西新店)
消去	△0	△0	0	-	
営業利益	112	107	5	5.1	
ストア	78	71	6	9.5	(+) 粗利増 (△) 費用増
生活雑貨販売	123	110	13	12.6	(+) 粗利増 (△) 費用増
消去	△89	△74	△15	-	
EBITDA	587	560	27	4.8	(EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費[営業費])
設備投資	729	526	203	38.6	

【参考】ストア 食品スーパー既存店売上 対前期比推移(%) ※収益認識会計基準等適用前ベース



食品スーパー既存店：当該年およびその前年のいずれにも営業していた店舗を対象。また、年度の途中で開店または閉店した店舗は除外。

物 流 業

国際物流事業で為替変動による円換算額の減少の一方、アジアを中心に取扱高が増加したことなどにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2025/2Q	2024/2Q	増 減	率(%)	主な増減内容
営業収益	71,935	70,179	1,756	2.5	
国際物流	75,177	73,451	1,726	2.4	(+) 輸出入取扱高増
国内物流	5,699	5,439	260	4.8	(+) 取扱増
消去	△8,941	△8,711	△230	-	
営業利益	2,520	1,547	973	62.9	
国際物流	2,462	1,582	880	55.6	(+) 粗利増
国内物流	155	73	81	111.4	
消去	△97	△108	11	-	
EBITDA	3,670	2,728	942	34.6	(EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費[営業費])
設備投資	1,516	1,704	△188	△11.0	

国際貨物取扱高

	単位	2025/2Q	2024/2Q	増 減	率(%)	地域ごとの増減率(%)
航空輸出	(千トン)	53	49	3	7.3	日本 14.0、北中米 △7.5、欧州 △7.0、アジア 8.4
航空輸入	(千件)	173	159	13	8.6	日本 3.2、北中米 11.6、欧州 △1.0、アジア 11.5
海運輸出	(千TEU)	59	53	5	11.0	日本 2.5、北中米 △1.3、欧州 0.2、アジア 15.9
海運輸入	(千TEU)	74	68	6	9.6	日本 22.7、北中米 6.4、欧州 △2.5、アジア 2.4

レジャー・サービス業 ホテル事業で客室単価の上昇に加え、「ONE FUKUOKA HOTEL」の開業（2025年4月）や
前期に開業した「西鉄ホテル クルーム バンコク シーロム」（2024年9月）の寄与などにより、増収
ホテル事業で人件費の増加や「ONE FUKUOKA HOTEL」の開業費用の発生などにより、減益

(単位：百万円)

	2025/2Q	2024/2Q	増 減	率(%)	主な増減内容
営業収益	27,627	25,128	2,499	9.9	
ホテル (※実質)	17,005 (16,558)	15,043 (15,018)	1,962 (1,540)	13.0 (10.3)	(+) 客室単価の上昇、ONE FUKUOKA HOTEL開業、 前期開業ホテル（西鉄ホテル クルーム バンコク シーロム）
旅行	1,681	1,503	178	11.8	(+) 取扱増
娯楽	3,046	2,895	151	5.2	(+) 水族館入館人員増
他	7,076	6,339	737	11.6	(+) 空港業務受託料収入増
消去	△1,182	△652	△529	-	
営業利益	3,033	3,192	△158	△5.0	
ホテル	1,368	1,724	△356	△20.7	(△) 費用増（人件費・減価償却費・備消品費増）
旅行	370	274	95	34.9	(+) 粗利増
娯楽	849	847	2	0.2	
他	557	396	161	40.7	(+) 粗利増
消去	△111	△50	△61	-	
※実質…事業内部取引を除く					
EBITDA	4,174	3,893	281	7.2	(EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費[営業費])
設備投資	759	1,624	△864	△53.2	前期：西鉄ホテル クルーム バンコク シーロム（2024年9月開業）

国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR

	2025/2Q	2024/2Q	増 減	率(%)
客室単価 (円)	13,485	12,853	632	4.9
稼働率 (%)	77.0	77.2	△0.2P	-
Rev PAR (円)	10,387	9,923	464	4.7

シティホテル及びONE FUKUOKA HOTELは除く

その他の車両整備関連事業で受注が増加したことなどにより、増収
金属リサイクル事業での粗利の増加などにより、増益

(単位：百万円)

	2025/2Q	2024/2Q	増減	率(%)	主な増減内容
営業収益	14,158	13,608	550	4.0	
車両整備関連	7,777	7,002	774	11.1	(+) 受注増
建設関連	3,906	3,988	△82	△2.1	(△) 受注減
金属リサイクル	2,162	2,378	△215	△9.1	(△) 一時的な稼働停止に伴う販売数量減
ICカード	544	517	27	5.3	(+) 加盟店手数料増
消去	△232	△278	45	-	
営業利益	781	760	21	2.8	
車両整備関連	409	398	10	2.7	(+) 粗利増
建設関連	194	238	△43	△18.2	(△) 粗利減
金属リサイクル	393	344	49	14.3	(+) 粗利増
ICカード	△148	△165	16	-	(+) 粗利増
消去	△67	△55	△12	-	
EBITDA	1,183	1,161	22	1.9	(EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費[営業費])
設備投資	962	323	639	197.9	

3. 連結財政状態

(単位: 億円)

		2025年 9月末	2025年 3月末	増 減	主な増減内容
資 产 合 计	7,775	7,821	△46		
流 動 资 产	2,189	2,177	13	販売土地及び建物 66、現金及び預金 27、 その他 △52 (未収消費税等)、受取手形・売掛金及び契約資産 △39 (売掛金等)	
固 定 资 产	5,585	5,644	△59	投資有価証券 △30、有形固定資産 △14	
负 債 合 计	5,132	5,261	△129		
流 動 负 債	1,448	1,571	△124	支払手形及び買掛金 △148、借入金 △54	
固 定 负 債	3,685	3,690	△5		
純 资 产 合 计	2,643	2,560	82	利益剰余金 148 (中間純利益 165、配当 △18)、 為替換算調整勘定 △43、自己株式 △40	
自 己 资 本 比 率	32.9%	31.8%	1.1P		
株 主 资 本 比 率	29.2%	27.7%	1.5P		
1 株 当 た り 純 资 产	3,385.30円	3,214.37円	170.93円		
有 利 子 负 債	3,608	3,662	△54	借入金 △54	

※ 有利子負債 = 借入金 + 社債

4. 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2025/2Q	2024/2Q	増減	2025年度第2四半期 主な内容	
営業活動	160	△51	210	● 営業活動によるキャッシュ・フロー	
				・税金等調整前中間純利益	242 (対前年 100)
				・減価償却費	114 (対前年 21 [ONE FUKUOKA BLDG.など])
				・未払消費税等の増減	99 (対前年 125 [当期還付など])
				・仕入債務の減少	△ 83 (対前年 6 [住宅事業など])
				・棚卸資産の増加	△ 74 (対前年 14)
投資活動	△26	△306	280	● 投資活動によるキャッシュ・フロー	
				・固定資産取得支出	△ 181 (対前年 138 [ONE FUKUOKA BLDG.など])
				・投資有価証券売却収入	73 (対前年 62 [政策保有株式])
				・固定資産売却収入	71 (対前年 69 [不動産流動化])
				・工事負担金等受入	27 (対前年 △8 [連立事業など])
財務活動	△101	104	△204	● 財務活動によるキャッシュ・フロー	
				・借入金・社債	△ 47 (対前年 △210 [借入金 △10、社債 △200])
				・自己株式の取得	△ 41
				・配当金支払	△ 17

	2025年 9月末	2025年 3月末	増減
現金等 期末残高	529	504	25

5. 2025年度連結業績予想

(単位：億円)

	2025年度 (予想)	2024年度 (実績)	増減	増減率	前回公表 ('25/5公表)	差異
営業収益	4,765	4,435	330	7.4 %	4,700	65
営業利益	270	267	3	1.3 %	250	20
経常利益	276	287	△11	△4.0 %	236	40
親会社株主に帰属する 当期純利益	250	208	42	20.1 %	212	38
事業利益	291	284	7	2.4 %		
減価償却費	235	202	34	16.7 %		
EBITDA	526	486	40	8.3 %		
設備投資	446	618	△172	△27.8 %		

※事業利益 = 営業利益 + 事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等

※EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)

(前回公表との差異)

営業収益 : ヒノマルホールディングス株式会社の連結子会社化

営業利益 : 住宅事業での粗利の増加、運輸業での人件費などの見込み差

経常利益 : 持分法による投資損益の改善

親会社株主に帰属する
当期純利益 : 投資有価証券売却益の増加

5. 2025年度連結業績予想

(単位：億円)

		2025年度 (予想)	2024年度 (実績)	増減	営業利益の主な増減 (△は主な増減要因)	前回公表 ('25/5公表)	差異
全 業	営業収益	4,765	4,435	330		4,700	65
	営業利益	270	267	3		250	20
運 輸 業	営業収益	831	809	22	鉄道事業、バス事業の減益	832	△1
	営業利益	40	50	△10	(待遇改善による人件費の増加)	35	5
不 動 産 業	営業収益	1,036	878	158	住宅事業の増益、賃貸事業の減益	1,049	△13
	営業利益	109	97	12	(住宅:販売区画数の増加、 賃貸:ONE FUKUOKA BLDG.開業に伴う費用の増加)	100	9
流 通 業	営業収益	741	720	21		743	△2
	営業利益	7	7	0		7	-
物 流 業	営業収益	1,502	1,480	22	国際物流事業の増益	1,480	22
	営業利益	52	38	14	(粗利増)	47	5
レジャー・サービス業	営業収益	566	527	39	ホテル事業の減益	566	-
	営業利益	55	59	△4	(費用増、ONE FUKUOKA HOTEL開業に伴う費用の増加)	55	-
そ の 他	営業収益	381	310	71	建設関連事業の減益	305	76
	営業利益	18	24	△6	(粗利減)	16	2